

# たましま協同病院だより

玉島協同病院

倉敷市玉島柏島5209-1

電話(086) 523-1234

http://www.tamakyo.com/

発行責任者 青木弘人

[病院理念] 玉島とその周辺の地域で暮らす人々が、疾病・障害のあるなしにかかわらず、その人らしく輝いて暮らせ、安心して一生を終えることを支援する医療機関でありたいと願います

## 当院の心不全チーム医療活動が評価されました

この度、2023年6月2日付山陽新聞の特集「倉敷中央病院創立100周年」記事内で当院の心不全チーム活動が評価されました。

当院は2017年より「心不全チーム」を立ち上げ、倉敷中央病院と連携や学習を密にしながら、心不全を患う患者さんの療養指導の質を上げ実践してきました。

今回取り上げられた内容は、「心不全治療の病院間協力体制構築が奏功した“モデルケース”として期待」と題され、心筋梗塞となり一時危篤状態に陥った患者さんが倉敷中央病院で集中治療を受け、その後当院に転院し引き続き治療・リハビリを行い社会復帰を果たした事例が紹介されました。これまでの倉敷中央病院と当院との心不全治療連携で取り組んできたことが形になった事例でした。

倉敷中央病院での専門的で質の高い心不全治療と療養指導を当院でも引き継ぎ行えるシステムが構築されています。記事内でも当院を「心不全治療の実績がある病院なので、安心して任せられた」との倉敷中央病院医師のコメントもありました。

当院では急増する心不全患者さんの療養指導を通して、心不全の再発や悪化、また心不全になること自体を防ぎたいと考えています。それぞれの患者さんの状況や事情に合わせた療養指導を患者さん、ご家族、関係機関の方々と共にやっていきたいと思います。今後も心不全療養指導の質を上げるよう努力し、地域・組合員の皆さんに還元できるよう頑張っていきたいと思います。

(地域連携室 八谷 なおり)



心不全カンファレンスの様子



玉島協同病院は今後も部屋代はいただきません

透析室…そのチェック 流れ作業になつてない?  
通所リハビリテーション…大事になる前に報・連・相が大事!

訪問看護ステーション…出発前に再確認 免許証 携帯 カバンの中身  
2病棟…規則と手順 決めて守つて 見直して

1病棟…ちょっと待て ほんとに合つてる? 再確認  
外来…確認作業 慌てたときこそ 深呼吸

居宅支援事業所…受けた相談・電話連絡 メモで残し確実に伝言!  
連携／相談／支援室…①預かつた 書類全ての 名を確認  
..②「これで良い?」 視点を変えて 再確認

事務課…「報・連・相」 チームプレーでミス防止  
放射線科…「何か変?」 違和感放置は 事故のもと

栄養係…忙しい そんな時こそ 再確認  
リハビリ係…目を離すな!車椅子移乗と歩行訓練  
検査室…マスクでも 聞こえる声で 再確認

薬局…見たつもり つもり重なり 事故招く  
医局…マルチタスクは間違いリスク 待つてと言うのもマジ大事

今年度も医療事故を防ぐために、各職場で標語を考えました。  
病院全体の医療安全目標「ダブルチェックの意識を高め、患者誤認につながるインシデントを減らします」に基づき、各職場で考えた標語を毎朝唱和する取り組み等を行っています。

2023年度 医療安全標語



玉島協同病院は24時間急患対応をしています

全日本民医連は1953年6月7日 22県117院所が加盟して結成。創立70年の現在、47都道府県1742事業所が加盟しています。

「コロナ禍を乗り越えて、今つながろう！行動しよう！」いのちと人権が守られる平和・公正な未来へ」をスローガンに70周年記念事業が行われています。

記念事業の一環として、「全国一斉行動」が行われました。全国をオンラインにてました。

（地域連携室 守分 もりわけ かおり 香）

ンでつないで、職員と共に同組織による全県連からの1分間パフォーマンスリレー（中継や作成したアルバム披露など）が実施されました。

当院のリレー参加はありませんでしたが、院内でもパソコンとプロジェクターを用意し、オンラインを通じて全国一斉行動を視聴する会場を設けました。



## 当院での視聴の様子



#### オンラインによる全国一斉行動

今年、全日本民医連は

当院では将来医療現場での仕事を目指す学生の実習受け入れを行っています。今回は実習に参加した学生のご紹介をします。

皆さんこんにちは。宝塚医療大学学生の高井と申します。  
私は、理学療法士を目指しており、それになるためには実習というものが必要となってきます。その中で最後の集大成を発揮する場となる臨床実習で5月15日～6月25日の6週間機会を与えていただきました。

主に2Fの機能訓練室、通所リハビリテーションで過ごす場面が多くありました。その中で1人の患者さんを担当させていただき、患者さんにとっての目標とそれに合わせての問題点、そして治療まで経験させていただきました。大学では学べないことも多くあり、挫折も経験してきました。ですが、理学療法士の皆さんをはじめ、多くの方と関わる機会があり、連携の大しさを学ぶことが出来ました。また、患者さんも温かい方ばかりで本当に地域に



## 実習の様子

根ざした良い病院だなと感じました。国家試験を取得しないと理学療法士にはなれないで、今後この経験を活かし、合格し、立派な理学療法士になれるように頑張っていきたいと思います。

(実習生 高井 一希)

# 看護補助者 介護職員 募集

資格不要! お気軽に問い合わせください!

お問い合わせ先 TEL: 086-523-1234 担当/池田



当院では「社会保障入門」テキスト」という社会保障の学習テキストを用い、週1回毎週水曜日にラウンジデイスカッショングを開催しています。

誰でも参加可能で、リハビリ、薬剤師、事務、MSW、ケアマネジャーなど他職種が集まり、医療や介護、年金等分野ごとのテーマについて、自分が感じていることや疑問等、様々な意見を出し合います。直近では、「若い世代は年金がもらえない」という意見についてどう思うかをテーマに話し合いました。「そもそも年金制度が

学生の頃からお金について勉強が必要」等、様々な意見が出ました。デイスクッションを通じて何か一つの答えが導き出されるわけではありませんが、「社会保障つて何だか難しそう」「自分には関係ないけど、将来ないのでと不安」

「…」と無関心だったことも他職種や職場の幅広い世代で対話をすることでもしでも社会保障について身近に感じ、考えていくことになればと思います。



## 他職種によるディスカッション

## 「社会保障」について語ろうー

**玉島協同病院はカルテを開示しています**